

2005年11月2日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況

1. 概況

県内経済は、足もと横這い圏内にあるものの、一部に緩やかながら持ち直しの動きが見られる。

すなわち、生産動向をみると、IT関連分野では回復の動きが続いているほか、自動車関連では先行き増産が見込まれているなど、全体として緩やかに持ち直しつつある。

また、最終需要の動向をみると、個人消費は全体として弱めの動きが続いているが、一部に下げ止まりの兆しも窺われる。この間、住宅投資は、横這い圏内で推移している。公共投資は、予算規模縮小の中、基調としては減少傾向にある。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、雇用・所得環境に捗々しい改善が見られない中で、全体としてみれば弱めの動きが続いているが、家電販売が堅調に推移しているほか、大型小売店の売上にも下げ止まりの兆しが窺われる。

(大型小売店売上高)

百貨店・量販店の売上げは、気温が高めで推移したこともあって秋物衣料品が不冴えで推移するなど、全体としてはなお低調な地合いが続いている。

もっとも、クールビズ効果や一部大手スーパーの閉店セールスといった一時的要因もあったが、このところ売上高の前年比マイナス幅が縮小する傾向にあり、下げ止まりの兆しも窺われる。

(家電量販店売上高)

家電売上高は、パソコンの動きが鈍いものの、薄型テレビを中心とするデジタル家電、高付加価値白物家電(ドラム式洗濯機など)、デジタル携帯オーディオ機器などの販売が好調なため、全体では堅調な動きを続けている。

(乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数(軽自動車を含む)は、軽自動車が新車投入効果もあって好調に推移しているほか、小型車も前年を上回っているが、普通車の落ち込みが大きく、全体としてはなお盛り上がり欠ける動きが続いている。

(旅行取扱高)

旅行取扱高は、当地での全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレク岩手 2005)開催等に伴う一時的増加が見られたが、基調としては海外旅行がアジア、ハワイ等を中心に持ち直しの傾向にある一方、国内旅行は弱めで推移している。

(2) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、月々の振れを伴いつつ、基調としては横這い圏内で推移している。内訳をみると、持家が低調に推移する一方、貸家の堅調が続いている。

(3) 公共投資

公共工事請負金額をみると、予算規模の縮小から基調としては減少傾向にあるが、案件の集中もあって上期中の累計額は前年を上回った。

3. 生産動向

生産面では、IT関連分野を中心に回復に向けた動きが続いており、全体として緩やかに持ち直しつつある。

すなわち、自動車部品、設備関連等では高水準の生産を継続しているほか、電気機械等IT関連分野では回復の動きが続いている。また、完成車についても、先行き増産が見込まれている。

(電気機械)

半導体・電子部品は、製品や出荷先により濃淡を伴いつつ調整が進展しており、回復の動きが続いている。

(輸送用機械)

完成車は、国内向け新型車種の投入効果一巡に加え、能力増強のための生産体制変更等の事情から、足もと一時的に減少しているが、年末にかけて再び生産を拡大する計画にある。

自動車部品では、海外需要が好調であることから、高操業を続けている。

(設備関連)

工作機械では、自動車部品メーカー向けを中心に豊富な受注残を抱え、フル操業を続けている。

(その他)

鉄鋼(線材)は、国内自動車メーカー向け出荷が好調な一方、一部海外での在庫過剰感の台頭から、操業度を幾分低下させている。

合板、セメントやコンクリート二次製品など建設関連品目では、公共投資の減少等を背景として、生産能力をかなり下回る低水準の生産が続いている。

紙・パ(段ボール原紙)は、菓子類や飲料品向け需要の好調から、堅調に推移している。

4. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、9月の有効求人倍率は、前月持ち直した後、再び小幅ながら低下し、一進一退の動きとなっている。

一方、所得面をみると、所定外労働時間が製造業で減少しているほか、常用雇用者数の減少やパートタイム労働者比率の高止まり等から、雇用者所得は全体として捗々しい改善をみていない。

5. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きが続いている。

6. 金融動向

預金は、個人預金がなお底堅い動きにあるものの、投資信託等預り資産へのシフトから伸び率が低下傾向にあるほか、企業の財務リストラ継続に伴う法人預金の減少から、全体では前年を下回っている。

貸出は、地元企業向けが資金需要の低迷から引き続き低調に推移しているほか、個人向けもこのところ住宅ローンを中心に伸び率が鈍化してきている。もっとも、地公体向けにおいて、長期資金の融通形態を債券発行形式から証書貸付形式へシフトし、貸出が増加しているため、全体では小幅ながら前年を上回って推移している。

以上